

技術・家庭科（技術分野）2年生シラバス

1 技術分野の目標

ものづくりなどの体験的活動を通して、この先も住み続けられる社会を造る力をつけることを目指す。

2 技術分野を学ぶ意義

生活や社会を支える技術を理解できるようになる。
生活の中で見つけた課題を解決する方法を考え、社会の発展に向けて工夫し創造できるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：生活や社会で使われている技術を理解することができる。 技能：安全かつ適切な製作活動を行うことができる。	思考：社会の中から課題を見つけそれに対していくつかの解決方法を考えることができる。 判断：いくつかの解決方法から今の課題を解決する手段を選ぶことができる。 表現：課題を解決するために考えた方法を分かりやすく伝えることができる。	住み続けられる社会をつくるために基礎的な技術を実際の生活や学習に生かそうとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：技術の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと
- ② 技術を学ぶ意義 例：技術を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 技術分野のアドバイス

- ① 道具などをたくさん使って、道具と触れ合いましょう。
- ② 自分の考えを設計図や絵などを用いて書きましょう。
- ③ 安全に作業ができるように道具の使い方には注意しましょう。